

一庫ダムができるまで

昭和41年 ～ 昭和58年



独立行政法人水資源機構
一庫ダム管理所



一庫ダムのあゆみ

- 昭和42年 7月 予備調査完了
- 昭和43年 8月 一庫ダム調査所発足
- 昭和43年10月 一庫ダム事業実施方針の指示
- 昭和44年 6月 一庫ダム建設所設置
- 昭和45年 7月 一庫ダム建設事業に関する「基本協定書」調印
- 昭和49年 7月 水源地域対策特別措置に基づくダムに指定
- 昭和52年 5月 一庫ダム本体工事に着手
- 昭和53年 4月 一庫ダム事業実施方針の変更
- 昭和54年 3月 一庫ダム本体のコンクリート打設開始
- 昭和54年10月 一庫ダム定礎式
- 昭和56年10月 一庫ダム本体のコンクリート打設完了
- 昭和56年11月 試験湛水開始
- 昭和57年 4月 一庫ダム竣功式
- 昭和58年 3月 施設管理方針の指示
- 昭和58年 4月 一庫ダム管理開始
- 昭和58年 5月 試験湛水終了

…以後、現在にいたります

基本協定調印



昭和45年7月6日 基本協定の調印

測量調査



関係者の立会のもと、
基準点、湛水線、河川縦横断等調査を行っている様子



補償



昭和50年8月21日 補償交渉妥結調印式

水没する民家



■ 補償物件の概要

土地	農地	1,721a
	山林・原野	14,084a
	宅地等	788a
建物	住家	32戸
	神社	1戸
	寺院	1戸

工事の流れ

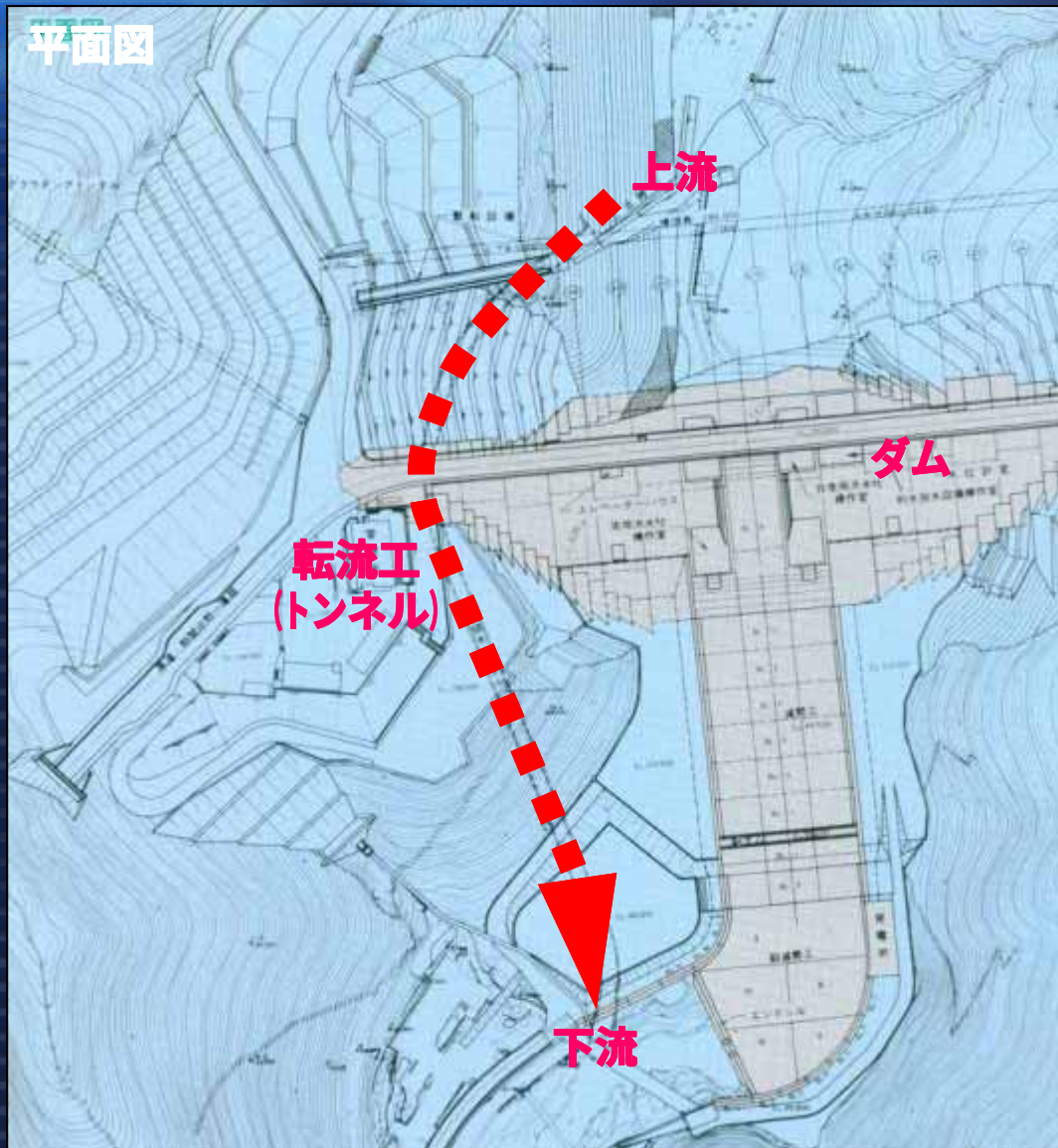


転流 → 掘削 → 基礎処理 → コンクリート打設 → 試験湛水 → 管理開始

転流

ダム本体工事を行うために川の流れを一時的に切り替えるための水路を造ります。

平面図



転流工築造の様子



基礎掘削

ダム本体はコンクリートのかたまりで大変重くなるため、その重さを支えられるだけの硬い岩盤が出てくるまで山を削ります。

左岸掘削全景



基礎処理

ダムを支える地盤は大きな荷重に耐えることができる”強さ”と、水もれを防止する高い”水密性”を確保するため、セメントミルク等を用いて基礎地盤を改良します。



主カーテングラウチング検尺

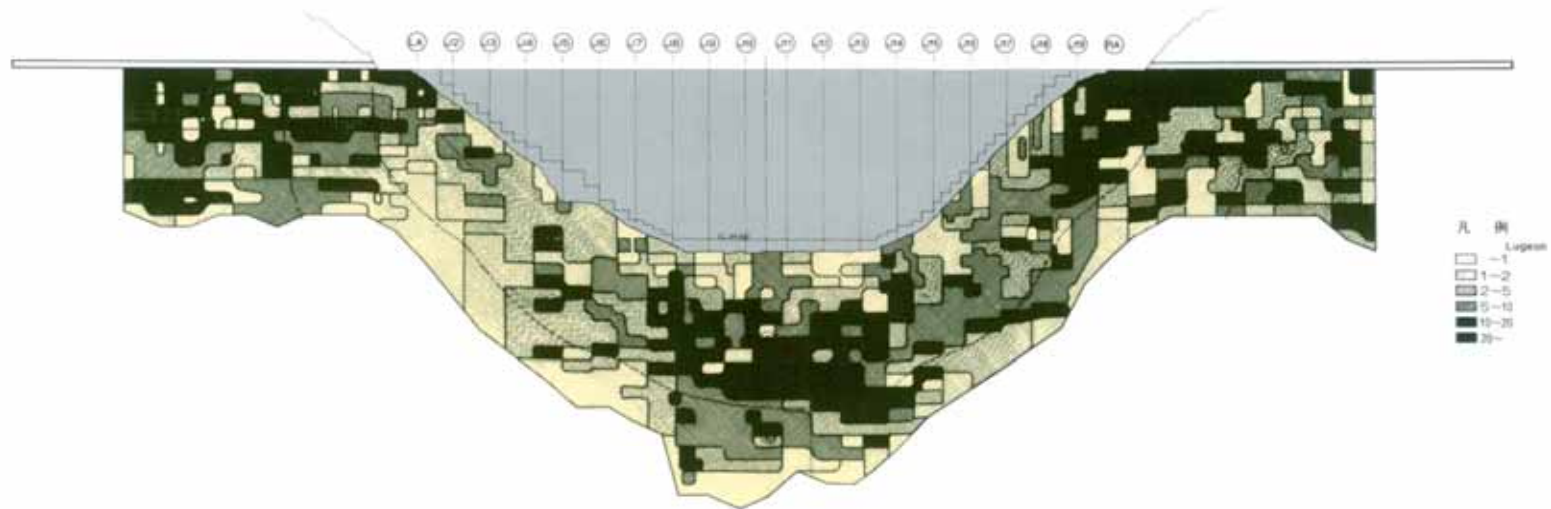


一次コンソリデーショングラウチング

基礎処理

地盤の改良前後にルジオン (=岩盤の透水性の指標) 試験を行い、改良の成果を見ます。

施工前ルジオンマップ



施工後ルジオンマップ



色が黒に近いほど透水性が高く、改良後には水が染み込みにくくなったことがわかります。

コンクリート打設



打設前の基礎岩盤仕上げ清掃



型枠の一例



昭和54年3月2日 コンクリート打設開始の様子

定礎

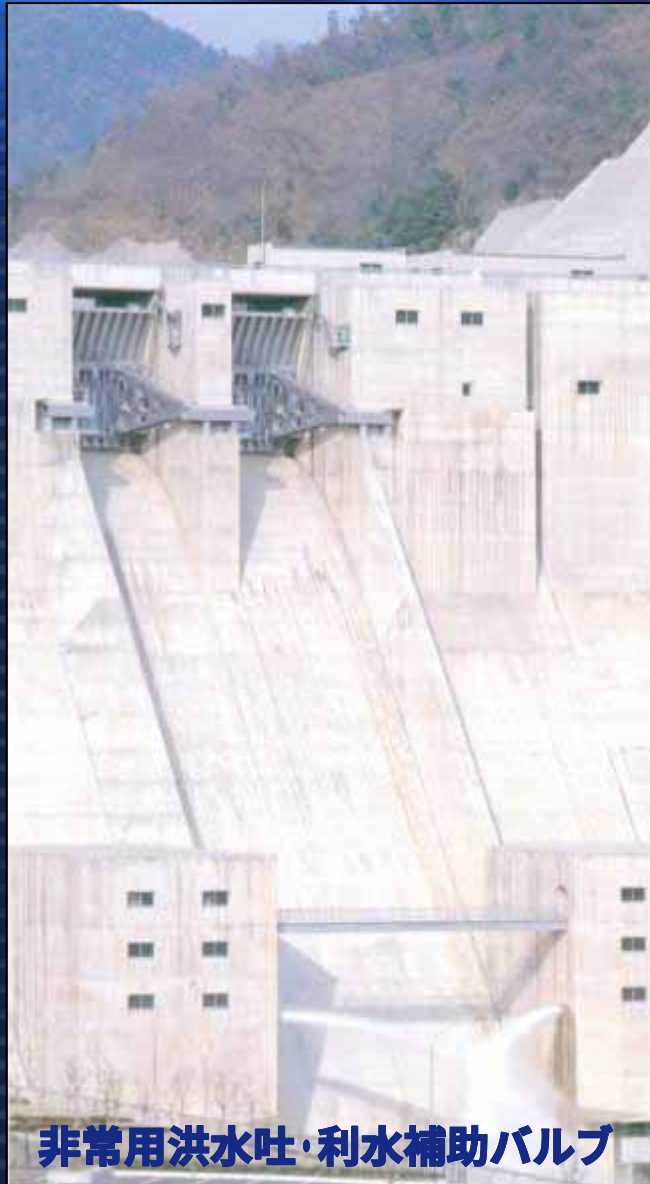


コンクリート打設



付属設備

ダム本体のほか、管理棟や電源設備の設置、環境整備などを行いダムは完成します。



非常用洪水吐・利水補助バルブ



一庫ダム管理棟



ダム左岸下流地区(公園)

試験湛水

ダムが通常の管理に移行する前に、満水位以下の範囲内で貯水位を上昇・下降させ、ダム、基礎地盤および貯水池周辺地山の安全性を確認するために実施するものです。ダムの最終試験といえます。



昭和56年11月4日 一次湛水開始

竣工



昭和57年4月14日 一庫ダム竣工式・渡初めの様子

湛水終了・管理開始



昭和58年5月 非常用洪水吐からの試験放流状況

[illegible][illegible]